

人道支援で朝鮮と日本の平和な関係の構築を

日時 2013年2月22日(金) 19:00~21:00

場所 三重県教育文化会館 3階 第4会議室

三重県津市桜橋 2-142 TEL: 059-228-1122

津駅(国道23号線海岸の方面) 徒歩5分

参加費 500円

1. ビデオによる訪朝報告 報告者 ハンクネット世話人 竹本 昇



江原道育児院(元山市)の幼児たち

昨年11月の訪朝で、平壤市と元山市の育児院を訪れ、母親が病気に罹ったり死亡したりして、母乳が与えられない乳児には、相変わらず、粉ミルクが不足している現状をみてきました。

日本政府とマスコミは、朝鮮の人工衛星打ち上げと核実験を理由に、朝鮮に対する恐怖と敵愾心を煽っていますが、亡国の塗炭の苦しみを体験し、アメリカの脅威にさらされている朝鮮にとって、核保有は国を守るための最後の手段

とされています。そのため、制裁措置では問題の解決にはなりません。対話による平和外交により、東アジアはもとより、世界の国の全ての核をなくすこと以外には、核廃絶の途はないと思います。

植民地支配の反省もなく平和で友好的な関係を築こうとしない政府やマスコミの一方的なネガティブキャンペーンに惑わされることなく、私たちが見てきた朝鮮の姿を報告して、人道支援を通じて、朝鮮と日本との間に平和で友好的な関係を築いていきたいと思います。

2. 朝鮮学校高校授業料無償化の適用除外の問題点について

報告者 朝鮮学校 在校生保護者 金榮泰さん

安倍政権は、高校無償化適用規定を改悪までして、朝鮮学校だけを高校無償化から排除しようとしています。安倍政権のこの差別と権利侵害の政策は、憲法と国際人権関係法に違反するものとして、すでに日本弁護士会やアムネスティ日本支部などの団体が、声明文を発して、高校授業料無償化の適用を求めています。また、1月24日には名古屋と大阪で、政府の違法行為に対する裁判も提起されました。



国を被告として裁判を提起
記者会見の様子 大阪地裁

日本政府が、朝鮮学校への高校授業料無償化の適用除外を目論むことは、植民地支配に対する日本の責任を無いものにするためです。そのために民族教育を抹殺しようとするものであり、在日朝鮮人に対する弾圧です。このとき、日本社会がこれを容認することは、日本政府の朝鮮学校と在日朝鮮人に対する人権蹂躪と弾圧政策に加担することに他なりません。

ご自身が朝鮮学校で学び、民族教育の素晴らしさと重要性を、身をもって会得されている金榮泰さんに、朝鮮学校の現状と適用除外の問題点について報告していただきます。

主催 朝鮮人道支援ネットワークジャパン(略称:ハンクネット)